学校番号	313

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	2単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の公共 （帝国書院）						
副教材等	クローズアップ公共2026 （第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の社会にある事象に「なぜ」の視点を持つ。
・日本や世界で今起こっていることに興味を持つ。
・暗記するだけではなく、自ら「考える」学習を強化する。
・高校生が当事者として社会について考え、議論を交わし、主権者として資質・能力を高める。

2　学習の到達目標

学習を通じて、現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付けることを目指す。社会課題に対する見方、考え方はさまざまあり多面的であることを重視し、その複数性の中で生徒が自分で考え対話を通じて、合意形成を目指す、公共的存在としての能力を養うことにとくに重点を置く。これを達成するために、さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定している。主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	・よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1「大人」へ向かう私たち」	私たちは、公共的な空間のなかで自分自身のあり方とどう向き合えばよいのだろうか。	a 青年期の発達課題について、その特徴を考察するための知識を理解し、身につけている。 b 青年期を理解する資料を収集し、青年期の特徴についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cp.24-25「幸福に生きるためには何が重要か？」などを活用し、青年期を意識させるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちが抱える悩みを解決するには、どのような方法があるのだろうか。	a 適応のしくみについて、悩みを合理的に解決するための知識を理解し、身につけている。 b 悩みと向き合う資料を収集し、合理的に解決する方法についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c p.22-23「『私』ってどんな人間？」などを活用し、みずからの可能性について考えさせるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちは、さまざまな個性が存在する社会を生きるうえで、どのようなことを心がければよいのだろうか。	a 豊かな人間関係を構築するために必要な知識を理解し、身につけている。 b 男女共同参画社会の資料を収集し、両性の本質的平等の現状についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cp. 69「同性婚は法的に認められるべきか?」などを活用し、多様な性による多様性豊かな社会の実現について考えさせるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちは、多様な宗教や思想と共生していくために、どのようなことができるのだろうか。	a 宗教が人々に与えているものを理解するために必要な知識を理解し、身につけている。 b 人々の生活と宗教の関わりの資料を収集し、宗教が人々の生活にもたらすものについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 宗教のもつ多様な面を紹介しながら、特定の宗教を取り上げすぎないように指導する。また、日本の思想の進展を学ぶにあたって、項目の羅列に終始しないようにする。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちは、新しい文化の創造に向けて、日本の伝統や文化とどのように向き合っていけばよいのだろうか。	a 文化の継承や創造、発信について、その特色に対応できる知識を理解し、身につけている。 b 日本特有の文化や伝統の資料を収集し、日本の伝統や文化の多様性、その継承と展開についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cp. 192 導入「和食の食材はどこから来ている？」や、p. 200–201「グローバル化と自由貿易協定」などとの関連を意識したうえで、第 3 部の課題探究学習につながるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

2学期		私たちは、よりよい公共的な空間をつくるために、どのようなことができるのだろうか。	a 社会参画と自己実現について、その関係を考察するための知識を理解し、身につけている。 b 社会との関わり方を知る資料を収集し、働くことの意義や職業選択についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cp. 24-25「幸福に生きるためには何が重要か？」などを活用し、自己実現の観点からキャリア意識を高めさせるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちが生きる公共的な空間をよりよくするためには、何に注目して選択・判断していけばよいのだろうか。	a 選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視考え方などについて理解している。 ①現代の諸課題についてみずからも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としてのあり方・生き方について探求することが、よりよく生きていくうえで重要であることについて理解する。 ①人間としてのあり方・生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身につけている。 ②倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方 る課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		大日本帝国憲法に代わり日本国憲法が成立したことで、どのように基本的原理が実現されたのだろうか。	a 敗戦から、GHQ と日本政府による大日本帝国憲法の見直しに至る経緯についての基本的な理解を踏まえ、日本国憲法の基本原則に関する知識を身につけている。 b 最高法規としての憲法の位置づけに関する基本的な考え方を用いて、憲法改正手続きの妥当性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 導入「日本国憲法の特徴はどのような点にある？」などを活用し、日本国憲法の基本原則について関心を高めることができるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちが平等に生きるために、日本国憲法にはどのような規定があるのだろうか。	a 平等権と差別に関する基本的な理解を踏まえ、差別の現実と差別解消に向けた取り組みに関する知識を身につけている。 b 平等権に関する基本的な考え方に基づき、現実社会の差別事例と差別解消の重要性などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cp.58-59「クオータ制を義務化するべきか？」や、形式的平等と実質的平等の違いに関する資料などを活用し、「平等」や「公正」に対する考え方を深めることができるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちは、消費者としてどのようなことに注意して契約を結べばよいのだろうか。	a 契約の考え方、消費者の権利と責任などについて理解し、知識を身につけている。 b 契約の考え方、消費者の権利と責任などについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 契約の考え方、消費者の権利と責任などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちは、なぜ政治に参加する必要があるのだろうか。	a 政治の定義を踏まえ、法の支配の原理を活用して、代表民主制と国民主権について考察するための知識を理解し、身につけている。 b 代表民主制の考えに基づき、政治的無関心や政治への参加についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cColumn「強い権力は必要か？～緊急事態条項について考える～」などを活用し、緊急事態条項等、政治の世界においても絶対的な正義は存在しないことに気づきながら、政治権力がどのように使われることが最善であるかについて考察できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちにとって、行政(内閣)はどのような役割を果たしているのだろうか。	a 権力分立の考え方を踏まえ、行政のしくみと活動についての知識を理解し、身につけている。また、行政の課題について改善点を考察するための知識を理解し、身につけている。 b 行政のしくみや活動について理解し、しくみが機能していることへの評価や問題点についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cp.90 図 2「議院内閣制のしくみ」や p.95 図 3「アメリカの政治体制」などを活用し、行政権の行使のしくみについてさまざまな対応があることに気づき、民主主義を適切に成立させるしくみについて考えることの大切さを意識できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちの意見は、どのように政治に影響を与えているのだろうか。	a 政党の目的と役割を踏まえて、政党政治の課題について理解している。また、政党の活動と世論やメディアとの関わりを関連させて考察するために必要な知識を身につけている。 b 代表民主制における政党の役割をもとに、世論の形成に政党やメディアが果たす役割について考察し、多様な情報をどのように受け止めたらよいかについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cColumn「フェイクニュースにだまされないように」や p.100-101「メディア・リテラシーを身につけるには？」などを活用し、多くの情報がメディアにあふれるなかで政治を評価し、世論を形成するには国民一人ひとりの判断力が必要となることを指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちは、日本の領土をめぐる動きにどのように向き合う必要があるのだろうか。	a 近代の国際法における領有権の定義を理解するとともに、日本の領土に係る歴史的経緯により、日本固有の領土について正しく理解し、生じている諸問題を解決する意志をもつことができている。 b 日本固有の領土を実効支配している諸外国に対し、国際法に違反することなく、日本の主張への理解を求め、解決へ導くにはどうすればよいかについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 日本固有の領土を実効支配したり、領有権を主張したりしている国家に対し、領有権の考えと日本の「固有の領土」であることの理解を、日本は平和と安全が確立されている状況において求め続けることができるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちは、どのように平和を保ってきたのだろうか。	a 平和主義が誕生した歴史的背景と、日本国憲法に定められている平和主義の理解の上に立って、第二次世界大戦後の日本の防衛政策についての考察に必要な知識を身につけている。 b 平和を実現するためのさまざまな取り組みを憲法の平和主義に照らし合わせて考え、安全で平和な状態を維持拡大する立場から、今後取り組むべき事柄についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 平和主義の考え方を、言葉のうえでの解釈のみに終始することなく、国際情勢の変化のなかで、普遍的かつ実効性のある状況で展開する視点から考察できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちは、国際社会のなかでどのような役割を果たすべきなのだろうか。	①国際社会において実施されている国際連合などによる取り組みや日本政府の取り組みについて理解するとともに、今後、解決しなければならない課題が存在していることについて考察するための知識を身につけている。 ②国際協力における政策の目標と達成度について理解するとともに、それぞれの政策の課題や今後の国際協力のあり方についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 ❸p.134-135「SDGs のどの目標から着手するとよいか？」などを活用し、国際協力として掲げた目標を実現するために必要な国家の政策や民間組織の施策、予算、人手、受け入れ国の理解と協力等、整えなければならない事柄について気づき、現実的かつ具体的に考察できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちの生活は、経済とどのように関わっているのだろうか。	a 市場の働きや分業の考え方に基づき、経済の循環などの資料を活用して、限りある資源を最適に配分するしくみや経済循環に関する知識を身につけている。 b 市場経済の考え方を用いて、市場の働きや分業のあり方を理解し、その内容を説明できている。 c 資源の希少性については必ず触れるようにする。図 4「家計とは」や図 5「経済の循環」などを活用して、経済社会の循環について理解を深めるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちの生活は、経済の変動によってどのような影響を受けるのだろうか。	aGDP（国内総生産）と国富に関する基本的な理解に基づき、経済を測る指標の資料を活用して、景気変動と変動から生じる現象について必要な知識を身につけている。 b 景気変動とその影響について説明できている。また、持続的な経済成長を実現するために求められる取り組みについてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 図 7「消費者物価指数の推移」や Column「身の回りの物価変動と経済への影響」などを活用し、物価と景気の関係について理解できるよう指導する。また、GDP の具体的な理解については、p.152-153「GDP の見方・考え方」を活用するよう促す。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちの生活は、財政とどのように関わっているのだろうか。	a 市場における政府の役割に関する基本的な理解に基づき、財政の機能、財政政策のしくみと経済に与える影響について、必要な知識を理解し、身につけている。 b 政府の役割と財政の機能、財政政策の基本的な考え方を用いて、財政政策の働きと課題について説明できている。また、景気の自動安定装置（ビルトイン・スタビライザー）について説明できている。 c 三つの財政の機能について、しっかりと理解できるよう指導する。また、図 6「財政政策と景気の自動安定化装置」などを活用し、財政と景気の関係について理解できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
3学期		私たちにとって、社会保障制度はなぜ必要なのだろうか。	a 社会保障制度に関する基本的な理解に基づいて、社会保障の歴史、役割、日本の社会保障制度のしくみを理解し、必要な知識を身につけている。 b 社会保障制度に関する知識を用いて、市場経済における社会保障制度の役割とその内容を説明できている。 c 図 2「世界の社会保障制度の歴史」や図 3「日本の社会保障制度の歴史」などを活用し、社会保障制度の歴史と役割について深く理解できるようにする。また、図 4「日本の社会保障制度」などを活用し、社会保障制度の種類を分類できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちは、働くうえでどのような権利が保障されているのだろうか。	a 労働者の権利および制度に関する基本的な理解に基づき、労働者の権利（労働三権、各種労働法等）や女性と労働をめぐる問題について考察するために必要な知識を身につけている。 b 労働者と企業の関係についての理解に基づき、労働契約の考え方について説明できている。また、労働者の権利や制度のあり方についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 導入「もしもアルバイトでトラブルにあったら？」や p.178-179「求人票ってどう見るの？」などを活用し、労働者にはどのような権利が保障されているか、またなぜ保障されているかを具体的に考えさせる。また、Column「男性にも育児休業を」、図 7「女性の年齢別労働力率」などを活用し、現代の労働環境について考察するよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちが国家間で貿易を行っているのはなぜなのだろうか。	a 国際経済に関する基本的な理解に基づいて、国際分業の意味、自由貿易の必要性、外国為替相場、国際収支に関する必要な知識を身につけている。 b 比較生産費説、外国為替相場、国際収支についてその内容を説明できている。また、これらの理解を踏まえて、自由貿易の推進についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 c 貿易による分業の利益については、図 3「比較生産費説」を参考にする。国際収支と為替変動の具体的な影響と要因についての理解は、p. 194-195「国際収支と為替レートの見方」などを活用する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		私たちは、なぜ地域経済統合を形成しているのだろうか。	a 地域経済統合の基本的な理解に基づいて、地域経済統合の現状や課題に関する必要な知識を身につけている。 b 地域経済統合の基本的な知識を用いて、EU を事例に発展過程と問題点について説明できている。また、EU 以外の地域経済統合について、みずから調べて説明できている。 c 図 4「世界の主な地域経済統合」などを活用して、それぞれの広がりや規模について確認できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

		私たちの経済活動は、経済のグローバル化によってどのように変化したのだろうか。	a 経済のグローバル化に関する基本的な理解に基づき、グローバル企業の展開と課題について理解し、自由貿易協定の動向について必要な知識を身につけている。 b 経済のグローバル化と自由貿易協定の基本的な知識を用いて、その影響と是非についてみずからの考えを形づくり、判断したことを表現している。 cp. 208-209「外国企業の誘致による地域活性化を進めるべきか？」などを活用し、グローバル化が日本経済に与える影響を多面的・多角的に考察できるよう指導する。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク
		持続可能な社会を形成していくために、さまざまな解決すべき課題に対して私たちはどのように取り組んでいけばよいのだろうか？	a 第１部、第２部の学習を振り返りながら、地域の創造、よりよい国家・社会の構築および平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 b 第１部、第２部の学習を振り返りながら、課題の解決に向けて事実をもとに協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠をもとに自分の考えを説明、論述している。 c 第１部、第２部の学習を振り返りながら、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会および国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体として、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期テスト	定期テスト	プリント提出 グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度